

令和6年6月定例教育委員会会議録

令和6年5月31日 定例熊谷市教育委員会を市役所6階603西会議室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、松島 佳代子、小林 敏宏

○ 出席事務局

教育次長	三友 孝二
参事兼学校教育課長	中谷 樹
教育総務課長	小暮 洋久
社会教育課長	小澤 信行
教育総務課施設担当副参事	笠原 浩一
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主事	浅見 柚妃

13時30分 6月定例教育委員会開会

教育長が、令和6年6月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に加藤委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

5月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長から、議案第19号及び第20号は、人事案件等のため非公開とし会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公開で行われることに決定した。

日程第1（報告第6－1号）寄附申出について

教育総務課長から、熊谷教育推進のためとして、令和6年4月11日から令和6年5月10日までの期間、ふるさと納税が計3件、金額にして10万5,500円の寄附申出をいただいたとの報告があった。

そのほか、市内子供たちの教育等充実のためとして、現金50万円を市内銀座在住の清水信夫氏から、郷土資料として、古写真9千円相当を匿名の方から、市史編さん事業に活用するためとして、近世から近代の古文書144点を市内本石在住の志村葉子氏から、それぞれ寄附申出いただいたとの報告があった。

日程第1（報告第6－2号）6月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、8月6日(火)に熊谷市役所3階303会議室において、午後

1 時 3 0 分から 8 月定例教育委員会を開催する予定であるとの報告があった。

日程第 1（報告第 6－3 号）6 月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について

教育総務課長から、6 月市議会定例会における教育委員会関連の議案等について説明があった。

まず、補正予算の歳出について、「部活動地域連携事業」は、埼玉県から委託を受けて中学校の「運動部活動の地域移行に関する実証事業」を実施するための経費で、「熊谷学校給食充実事業」は、学校給食のために 1 0 万円の寄附金を頂いたことから、この寄附金を活用し児童・生徒が学校給食で使用する食器・お碗の一部を更新する経費でそれぞれ計上するとの説明があった。

次に歳入について、「運動部活動の地域移行に関する実証事業委託金」は、歳出で説明した部活動地域連携事業の経費に対する県からの委託金であると説明があった。なお、学校給食充実事業の寄附金は、昨年度受け入れを行っていることから、今回の補正予算では計上しないことが説明された。

また、工事請負契約締結について、老朽化が進み長寿命化を図るための大規模改造事業のうち建具改修や内装改修、塗装改修などを実施する改修建築工事の契約締結で予定価格が 1 億 5 千万円以上の工事について議案を提出するもので、市内の建築業者を対象に一抜け方式で一般競争入札を行ったところ、玉井小学校教室棟中校舎改修建築工事については、大和建設株式会社が税込金額 3 億 6, 0 8 0 万円で落札し、別府中学校管理棟改修建築工事については、田部井建設株式会社が税込金額 3 億 5, 9 2 6 万円で落札し、籠原小学校管理教室棟（B 棟）改修建築工事については、株式会社ケージーエムが税込金額 3 億 4, 9 5 8 万円で落札し、いずれも現在仮契約を結んでおり、議会の承認を得れば工事請負の本契約を締結するとの説明があった。

最後に、財産の取得については、現行の熊谷学校給食センターの老朽化が進んでいることから、新熊谷学校給食センターの整備に向けて順次手続を進めており、建設予定地の所有者との協議等が調ったため、議決に付すべき予定価格が 2 千万円以上であって、1 件 5 千平方メートル以上の不動産に該当することから、当該土地の取得について議会に議案を提出するもので、合計で 1 2 筆、9, 1 5 3. 0 7 平方メートル、土地所有者は 7 名、取得価格は、8 0, 5 7 9, 7 4 8 円で現在仮契約を結んでおり、議会の承認を得れば所有者と本契約を締結するとの説明があった。

日程第 1（報告第 6－4 号）令和 5 年度公益財団法人熊谷市文化振興財団の決算について

社会教育課長から、公益財団法人熊谷市文化振興財団の令和 5 年度事業及び決算について、財団の理事会及び評議会において既に議決済みであり、当該事業及び決

算は6月市議会定例会において、地方自治法に基づき報告し承認を得る予定であるとの説明があった。

日程第2（議案第18号）市指定文化財候補の調査実施に係る熊谷市文化財保護審議会への諮問について

社会教育課長から、本議案は「銅造誕生釈迦仏立像」及び「木造阿弥陀如来坐像」の2件について、熊谷市文化財保護条例第4条（文化財保護審議会）及び熊谷市文化財保護審議会規則第2条（調査委員）に基づき、熊谷市文化財保護審議会に対し市指定文化財候補として調査、審議することを諮問してよろしいか伺うものであるとの説明があった。

1件目の「銅造誕生釈迦仏立像」は、市内永井太田の正蔵寺が所有する市内に所在する仏像の中では最古級の鋳銅製の仏像で、像の高さが8.92cmと小さく様式構造から8世紀代は下らない奈良時代にさかのぼるものと推定され、像には火の中や土の中にあった痕跡がありいつの頃か掘り出され寺に納められたと考えられるが伝来の詳細は不明であるものとの説明があった。

2件目の「木造阿弥陀如来坐像」は市内葛和田の大龍寺本堂に安置されている本尊で、平安時代の12世紀末頃に作られた仏像であり、像の高さは56.5cmで、平安時代後半に広く全国に流行した平安時代の仏師・定朝に始まる和様の仏像彫刻様式である定朝様の特徴が良く表れているものであるとの説明があった。

これらの資料については、既に市史編さん事業の一環で調査され、令和2年3月に刊行された『調査報告書 仏像・仏画1』に収録されているが改めて調査及び評価を行い有形文化財・彫刻としての指定について検討を行うもので、調査員については専門分野に鑑み、文化財保護審議会委員兼文化財専門調査委員または別に委嘱する文化財専門調査委員を予定しているとの説明があった。

（議案は、原案どおり可決）

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、令和6年4月16日から令和6年5月15日までに後援等承認決定した事業が21件あったとの報告があった。

日程第2（議案第19号、20号）非公開

（議案は、原案どおり可決）

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和6年6月定例熊谷市教育委員会を開会した。

（14時30分 閉会）

署名

教育長 野原 晃

委 員 加藤 道子